

2018年7月19日部長会決定

### 同志社大学国際連携に関する方針

同志社大学は、創立者新島襄が10年に及ぶ欧米滞在を経て描いた精神と理念を教育の理想として追求し、教育理念の1つに「国際主義」を掲げている。本学における国際連携の目的は、キリスト教の徳育で陶冶され、多様な価値観を受け入れることができる品行正しき国際人の養成にある。本学は、建学の精神に関わる社会的使命として社会のグローバル化と向き合い、そこで重視する事項を下記のとおり国際連携に関する方針とする。

#### 記

1. 教育においては、本学が授与する学位の国際通用性を担保するため、多様な教育分野の提供、多様な学生の受け入れによる開放性の高い教育を展開し、学生の学習時間の確保を重視する。
2. 研究においては、多様な教員が集積し、研究機関や企業等との組織的連携や、研究者同士の活発な交流により、多様な研究分野における研究活動の展開、融合研究の創出を重視する。
3. 学生支援においては、多様な背景を持つ学生が学ぶキャンパスの特色を活かし、日本人学生と外国人留学生の共修、交流による多様性の理解、享受を促進する。
4. 大学運営においては、多様な価値観を受け止めるガバナンスにより、多文化共生を推進する。
5. グローバルな背景を持ち、国際通用性の高い教育を展開し、きらりと光る特色を持つ大学であることを世界に積極的に発信し、一目置かれる大学としての認知度を高める。
6. 海外渡航による学びの経験を持つ学生の比率を2025年度に全学生の30%に増加させる。
7. 外国人留学生の受け入れを2025年度に全学生の13%に増加させる。
8. Study Abroad Program センター提供科目の受講者を2025年度に2016年度受講者数の倍増以上を目指す。
9. テュービンゲン EU キャンパスにおける学びの経験を持つ学生数を2025年度までに約300名を毎年確保し、継続させる。
10. テュービンゲン EU キャンパスにおける学術交流を経験した教職員数を2025年度までに30名前後を毎年確保し、継続させる。

以上